

作曲家・足立美緒による箏・雅楽器×空間オーディオEP『想像、そしてダンス』1月17日リリース

音楽レーベル・制作事業などを手掛ける、株式会社ラプソディ(所在地:東京都中央区、代表取締役:芦澤伸太郎)は、作曲家・足立美緒による箏や雅楽器など日本の伝統楽器をフィーチャーした楽曲を集めた1st EP『想像、そしてダンス』を、2023年1月17日(火)各種配信サービスにてリリースします(レーベル:SASSO / rhapsodie musique)。

【『想像、そしてダンス』概要】

『想像、そしてダンス』は作曲家・足立美緒による、箏や雅楽器など日本の伝統楽器をフィーチャーした楽曲を集めた6曲入り1st EPです。

<3つのキーワード>

- 1、アカデミックなバックグラウンドを持ち、生演奏による伝統的なサウンドを楽しめると同時に、エレクトロニクス・サンプリングを用いたアンビエントなサウンドが「伝統」のイメージを大きく更新。
- 2、老舗レコーディングスタジオ「音響ハウス」の「Studio No.7」(Spatial Audio(空間オーディオ)対応)にてDolby Atmos Mixの制作
- 3、2020年～2021年のコロナ禍に制作された、苦難の中での無限の創造の可能性を提示するメッセージを持つ楽曲。



【伝統邦楽のイメージを更新するサウンド】

全ての楽曲を手がける足立美緒は2018年東京藝術大学大学院修了、アカデミックなバックグラウンドを持ちアート性とポピュラー性を兼ね備えた作風で、日本伝統楽器の音楽や劇伴、広告音楽等で在学中より活躍する作曲家です。2017年より雅楽・邦楽×作曲グループ「音・音(おんおん)」を主宰。その自主制作作品は新鮮で繊細なサウンドで好評を得て、「藝祭」の超満員のパフォーマンス、セレクトショップや日本伝統楽器店・専門店でのアルバムの販売、静かなロングヒットを実現しています。

『想像、そしてダンス』も音・音プロデュース作品から3曲収録、生演奏による楽器の伝統的な魅力が楽しめる一方、エレクトロニクス・サンプリングを用いたアンビエントなサウンドを取り入れた「伝統」のイメージを大きく更新する楽曲が特徴です。静謐で繊細な楽曲は現在の日常のサウンドトラックとして、従来の伝統邦楽のリスナーにとどまらない、アンビエントミュージックやサウンドトラックを愛好するリスナーにも訴求の可能性を秘めています。

演奏は雅楽師の清田裕美子と箏演奏家の森梓紗。「音・音」他、足立作品にも多数参加しており、ともに東京藝術大学を卒業し現代邦楽で活躍する新進気鋭の演奏家です。



足立美緒



清田裕美子



森梓紗

【「音響ハウス」によるDolby Atmos(空間オーディオ)】

『想像、そしてダンス』は、2022年3月にリニューアルオープンした「音響ハウス」の新スタジオ「Studio No.7」(Spatial Audio(空間オーディオ)対応)にてDolby Atmos Mixの制作を行いました。ミキシングは、飯村大貴(音響ハウス)が担当。

Dolby Atmos とは
「チャンネルベース」と「オブジェクトベース」のハイブリット型、イマーシブオーディオフォーマットです。

Bed 7.1.2 (L.C.R.LFE.Ls.Rs.Lrs.Rrs.Ltf.Rtf.Ltr.Rtr)の計10ch+Object 118ch
以上合計128chをバイノーラルでヘッドフォンやスピーカーで聴くことができます。

Dolby AtmosはApple Music、Amazon Musicの配信サービスが対応。
空間オーディオのサービス利用者は誰でも臨場感あるサウンドを体験できます。

Dolby Atmos Mixのポイント

飯村: Dolby Atmosの魅力は映画館の5.1ch、7.1chに加え、頭の上に定位されるTop chが増えることで半球体を再現できることや、Objectトラックを使うことで音の位置情報をピンポイントで定位させることができる為、音をよりリアルに再現できることです。

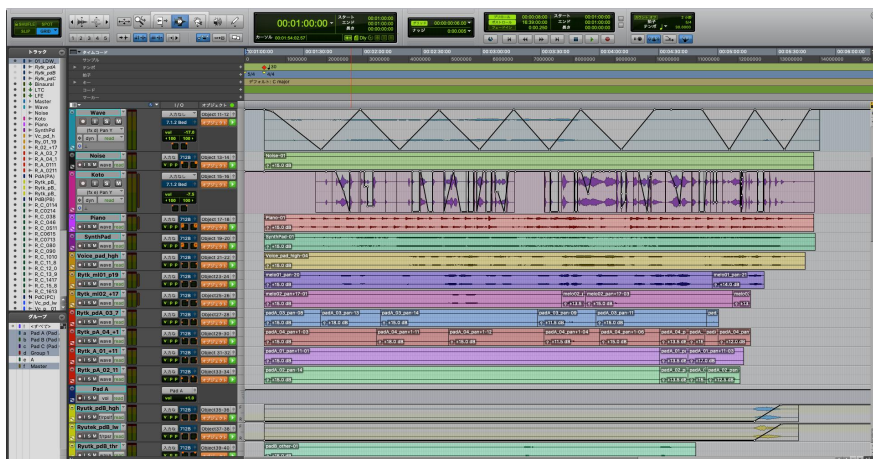
今回MixしたT1.『遠くの波音』では、Object PAN オートメーションを使って波の音に包まれるようにしたり、Objectトラックを多用して各音の位置をリアルに再現。(画像参照)

またリバーブはBed7.1.2chOutで作ったものと、Front, Side, Back, TopにわけたObject Outのリバーブを使ってMixしました。

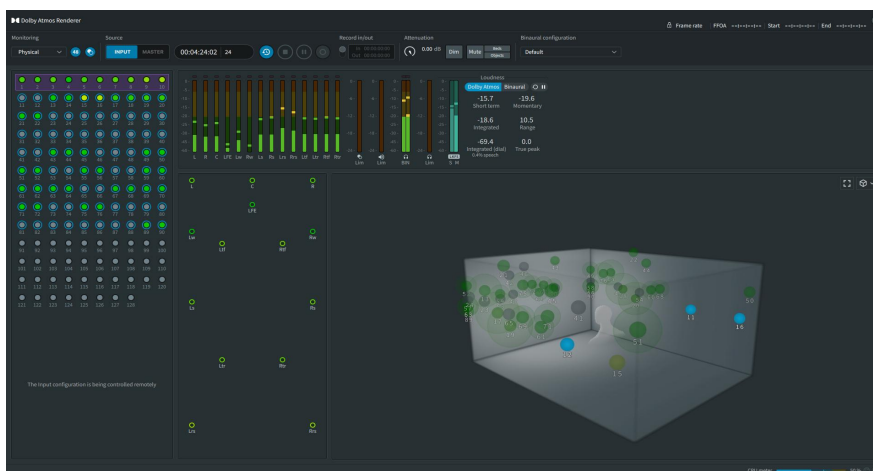
Dolby Atmosはヘッドフォンで聴かれることが多いので、ヘッドホンでの聴こえ方を重点的にチェックを行いました。

配信サイトによってバイノーラルエンコードが異なるため、Mixを一度書き出しiPadに入れて聴いてMixを修正する、を繰り返し行います。

音響ハウス7stでは、スピーカーが9.1.4ch(L.C.R.LFE.Ls.Rs.Lrs.Rrs.Ltf.Rtf.Ltr.Rtr.Lw.Rw)ありワイドchがあることでFront～Rearの動きにこだわって作業できる事が強みです。



T1.『遠くの波音』ProtocolsSession



T1.『遠くの波音』DolbyAtmosRenderer



音響ハウス Studio No.7

音響ハウス 公式ウェブサイト

<https://www.onkio.co.jp/index.html>

【2020年～2021年、コロナ禍での制作背景】

『想像、そしてダンス』には、音・音プロデュースのリモート制作アルバム『Imagine Peaceful Moments』(2020年春制作、2021年リマスタリング・CD発売)と、雅楽師・清田裕美子、ダンサー・meicaとの期間限定コラボレーションによる30秒の作品集(2020～2021年)から3曲ずつ収録されています。

ともにコロナ禍を背景とし、リモートを中心に音源が制作された企画のコンピレーション的作品である本作。元は別企画ながら、「想像」「ダンス」は根源的・創造的な、現在においてキーワードとなる営みであると足立美緒は考えています。

苦難が世界を否応なく狭める中で、小さな部屋からも人は遠くの無限の風景、あるいは今ここにはない時間を「想像」し、身体のエネルギーは日常の隙間を作り、祝祭に「踊り」出ることが可能である——『想像、そしてダンス』はこの世界を静かに少し更新する、創造の可能性を提示するメッセージを伝えます。

【収録楽曲】

T1. 『遠くの波音』(for 龍笛 & 箏)

波音に乗り、水のように揺蕩う箏、空を翔び舞うような龍笛が織りなすアンビエントミュージック。

T2. 『Reflection』(for 龍笛)

シンセサイザーとの境界も曖昧な龍笛のサウンドが光の幻想の世界に誘うコンテンポラリーダンス曲。

T3. 『Perfect Life(完全無欠な日常)』(for 龍笛 & 楽琵琶)

不穏なシンセサイザーと共に機械的な姿へと変貌した龍笛と楽琵琶のサウンドがとめどなく押し寄せる。

T4. 『月に語らう』(for 楽琵琶 & ピアノ)

楽琵琶とピアノのためのオールインストゥルメンタル。遠くの誰かを思う夜を、遥か古から月は見ているのだろう。

T5. 『stop or step -足跡のその先へ-』(for 楽琵琶 & ピアノ)

「人との距離」を象徴する足元の標を越える、やがて訪れる夜明けへの長い一步を描くコンテンポラリーダンスミュージック。前トラックに続く楽琵琶とピアノのためのインストゥルメンタルだが、30秒程にドラマティックなストーリーが凝縮。

T6. 『春に抱かれ、海は漂う』(for 十七絃箏)

唯一2016年に作曲され、2020年に再構成・録音された低音箏・十七絃のための楽曲。波音、十七絃の演奏とサンプリングで構成される。今もなお漂い続ける人、あるいは世界の春を静かに願う。

【クレジット】

『想像、そしてダンス』（英題『Imagine, then Dance』）

作曲：足立美緒

演奏：清田裕美子（龍笛、楽琵琶、ピアノ）、森梓紗（箏、十七絃箏）

Dolby Atmos ミキシング：飯村大貴（音響ハウス）

プロデューサー：葦澤伸太郎

製作：SASSO、rhapsodie musique

【足立美緒プロフィール】

1993年東京都生まれ。2015年東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科首席卒業。2018年同大学院音楽研究科音楽文化学専攻音楽音響創造研究分野修了。

コンサート作品、映像、CM、舞台や展示空間などの音楽を制作。サウンドデザイン、演出、プランニング等の分野でも活動、受賞。自然や土地の風景との関係性、歴史や社会の記憶などに対する想像力を開くような作品を手掛ける。

2022年和田淳監督『半島の鳥』で「Award for the Best Music Film」受賞（Animator 2022、ポーランド）ほか、音楽・ビジネス分野で受賞。TOKYO FM「未来授業」、J-WAVE「INNOVATION WORLD」出演。2017年より雅楽・邦楽×作曲グループ「音・音（おんおん）」主宰。

作品例

- ・彦根城次世代MR音声ガイド「赤備えの武将 井伊直孝公が語る彦根城」音楽（2022）
- ・『パンどろぼう』WEBムービー いとしいいとしのパン編 音楽（2022）
- ・アニメ『しーちゃんのごちそう』OP&ED音楽（2022）
- ・TBS 24th DigiCon6 ASIAオープニングムービー音楽（2022）
- ・短編アニメーション『半島の鳥』音楽（和田淳監督）（2022）
- ・音楽と行こう by au 5G LIVE イメージ動画音楽（2022）
- ・短編映画『世界で一番最後の魔法』（森田博之監督）（2018）
- ・千住 明×SENJU LAB「東京藝術大学 クローン文化財 失われた刻の再生オリジナル・サウンドトラック」アレンジ（2017）

足立美緒ウェブサイト

<https://mio-adachi.com>

【株式会社ラプソディ】

本社：〒104-0053 東京都中央区5-1-17-801

代表者：代表取締役 芦澤伸太郎

設立：2015年10月1日

URL：<http://www.rhapsodie.jp>

事業内容：音楽レーベル・制作事業など